

農作業安全・高度な栽培技術確立事業 [新規]

【生産システム革新推進事業 190(212)百万円の内数】

対策のポイント

- 農作業事故の防止に向け、リスクアセスメントに基づく農作業時の安全確保技術を確立する取組を支援します。
- 「強み」のある産地形成に向け、ICTを活用したスマート農業の実証を支援します。

<背景／課題>

- ・ 高齢化等により農業就業人口が減少する中で、農作業事故での死亡者数は近年約400人で推移しており、農作業における安全確保は喫緊の課題となっています。
- ・ 担い手の高齢化に伴う高度な技術の喪失を避け、伝承していくことが課題となっており、また、農業所得の増大を図るため、高品質なジャパンプランドを安定的に生産・輸出までつなげていくことが必要となっています。

政策目標

- 農作業事故による死亡者数を減少
- 平成32年までに我が国の農林水産物・食品の輸出額を1兆円まで伸長

<主な内容>

1. リスクアセスメントに基づく農作業時の安全確保技術の確立 [新規]

農作業中の事故を未然に防止するため、一連の作業の中の危険要因を洗い出し、事故の起こりやすさやけがの度合いを評価することにより、対策をたてる優先順位を決め、実際に対策を考えて周知徹底する取組（農作業へのリスクアセスメントの適用）を支援します。

2. ICTを活用したスマート農業導入実証 [継続]

高度な技術の伝承やジャパンプランドの安定的な生産・輸出による農業所得の増大のため、平成26年度に開始したICTを活用したスマート農業の導入の取組を引き続き支援します。

(参考)「農作業におけるリスクアセスメントの適用」

畦畔草刈りにおける滑落、コンバインでの手こぎにおける巻き込まれ等の一連の農作業の中の危険要因を洗い出します。それらの危険要因ごとに、事故がどれくらい起こっているか、起こった場合の重傷度について評価し、対策をたてる優先順位を決めます。その上で、具体的な対策（畦畔から滑落しないよう滑りにくい靴を履く、コンバインに巻き込まれないよう、体にフィットした作業着を着る等）を決め、周知徹底することです。

（補助率：定額、1／2以内）
（事業実施主体：民間団体等）

[お問い合わせ先：生産局技術普及課資材対策室(03-6744-2111)]

生産システム革新推進事業のうち
農作業安全・高度な栽培技術確立事業

一連の農作業の中の危険要因を洗い出し、その対策をあらかじめ決め、周知徹底する取組（農作業へのリスクアセスメントの適用）や、環境情報を蓄積・分析するセンサや農作業・経営管理を支援するシステムを導入し、地域の農産物の高品質化・高付加価値化を図る取組の実証を支援します。

リスクアセスメントに基づく農作業時の安全確保技術の確立

【事業内容】

農作業へのリスクアセスメントの適用

- ・農作業中の事故の詳細な調査・分析
- ・各作業行程における危険性の特定、見積もり、危険性低減措置の優先度設定、対策の提言 等

【事業実施主体】

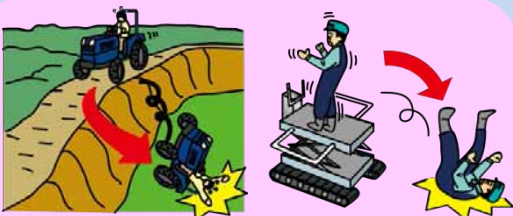
民間団体等

【事業実施期間】

平成27年度～29年度（3年間）

【補助率】

定額



農作業事故を詳細に調査し、作業工程・性別・年齢等で分析



危険性低減対策の提言

ICTを活用したスマート農業導入実証

【事業内容】

ICTを活用したスマート農業の導入の取組

- ・地域協議会、現地研修会の開催
- ・精密農業の実践に必要なシステム等の活用及びその成果の評価
- ・圃場・土壌情報管理システム、IT機器（クラウドサービス）利用料
- ・システム開発・改良・管理に必要なコンサルタント費
- ・マーケティング支援 等

【事業実施主体】

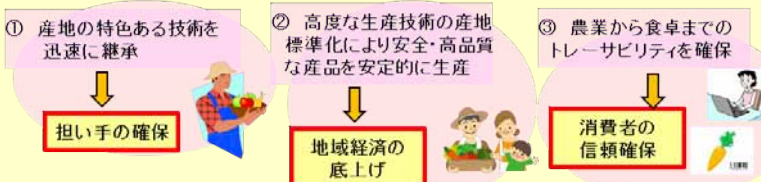
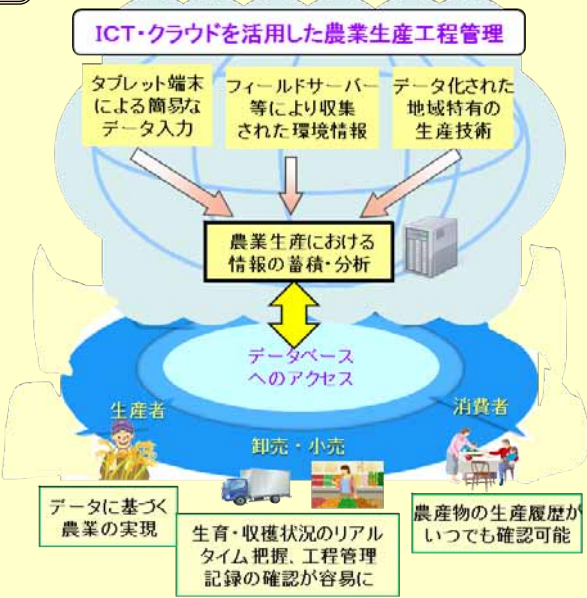
地域協議会（複数の生産者又は生産者団体、研究機関、地方公共団体、流通業者、実需者（加工業者、医療機関等）等）

【事業実施期間】

平成26年度～平成28年度
（3年間）

【補助率】

定額、1／2以内



ICTを活用したスマート農業導入実証・高度化事業 平成26年度採択地区

【実施地区】
福島県伊達郡桑折町

【実施主体】
桑折町スマート農業実証協議会

【対象品目】
桃



【実施地区】
北海道上川郡鷹栖町

【実施主体】
鷹栖町地域農業ICT推進協議会

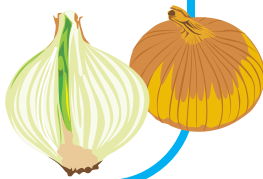
【対象品目】
きゅうり 等



【実施地区】
佐賀県佐賀市

【実施主体】
佐賀若手生産者コンソーシアム

【対象品目】
タマネギ



【実施地区】
茨城県小美玉市

【実施主体】
いばらき農流研ICTコンソーシアム

【対象品目】
葉物野菜 等

